

拉致問題の理解促進・情報発信にかかる最近の取組について

平成30年10月
拉致問題対策本部事務局

1. 国内向け理解促進活動

(1) 広報媒体の活用

- ・ 拉致啓発ポスターやパンフレットの製作・配布の実施。
- ・ 拉致問題対策ホームページの開設・運営。
- ・ 内閣府庁舎1階啓発コーナー「拉致問題を知るひろば」の運営。
- ・ 映画「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」及びアニメ「めぐみ」の上映会の開催。
- ・ 「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」を制作し、上映会を開催するとともにホームページにて公開。
- ・ 自治体広報誌における拉致問題の取り上げ等を促す大臣名通知を各都道府県・政令指定都市の首長あてに発出（平成30年7月10日付）。



(2) 若年層への啓発の強化

- ・ アニメ「めぐみ」のDVDを作成。全国の小学校、中学校、高等学校、公立図書館に無償配布し、上映を促進。また、学校からの要望に応じて事務局職員を派遣し、拉致問題の概要を説明。
- ・ 中高生を対象とした作文コンクールを実施。優れた作品には大臣表彰を実施。
- ・ 拉致問題担当大臣及び文部科学大臣の連名で、アニメ「めぐみ」等の学校上映及び作文コンクールへの参加を促す通知を全国の教育委員会等あてに発出（平成30年3月7日付）
- ・ 大学生を対象とした啓発セミナーを開催。第4回となる平成29年度は上越教育大学との共催で開催。
- ・ 小中高校の教員等を対象とした研修会を実施予定（平成30年度新規事業）。
- ・ 「こども霞が関見学デー」において、アニメやまんが「めぐみ」の視聴、クイズアプリ等で子供達が楽しみながら拉致問題を知って、考え、声・歌・詩・手紙・イラスト・工作など、子供達の好きな表現方法で感想等を表現するコーナーを実施。



(3) 「拉致問題を考える国民の集い」の開催

- ・地方公共団体及び民間団体との共催等による啓発行事として平成20年度から全国各地で「拉致問題を考える国民の集い」を開催。
- ・平成30年度は鳥取県、大阪府、東京都及び沖縄県で開催予定。

(4) 拉致問題啓発舞台劇公演「めぐみへの誓い—奪還—」の開催

- ・拉致問題啓発のための舞台芸術事業の一環として、地方公共団体との共催により、舞台劇公演「めぐみへの誓い—奪還—」を開催。
- ・平成30年度は岐阜県多治見市、鹿児島県鹿屋市、神奈川県寒川町、愛媛県松山市、山梨県南アルプス市、富山県富山市、兵庫県神戸市、大分県大分市、千葉県市川市、埼玉県蕨市及び大阪府豊中市の全国11都市で開催予定（一部実施済を含む。）。



(5) 北朝鮮人権侵害問題啓発週間における政府主催行事の開催

- ・北朝鮮人権侵害問題啓発週間にあわせ、平成18年より毎年、政府主催で講演会やシンポジウムを開催。
- ・平成29年度は、12月16日に、政府主催国際シンポジウム「圧力強化の先に見えるもの—制裁の効果と今後の展開」を開催（共催：法務省、後援：文部科学省）。
- ・また、同日、日本で北朝鮮向けラジオ放送を行う拉致問題対策本部事務局と民間団体との共催で、共同公開収録を実施。



2. 海外向け理解促進活動

- ・ 拉致問題の解決には国際社会との連携が重要であり、海外でも政府主催の国際シンポジウム等を開催し、国際社会に向けた情報発信と連携強化に取り組んでいる。
- ・ 平成28年5月には、ワシントンDCでCSISとの共催シンポジウム、NYの国連本部で政府主催国際シンポジウムを実施し、加藤拉致問題担当大臣（当時）が出席。同年12月には、日本、米国、韓国、豪州、EUの共催により、NYの国連本部にて北朝鮮の人権状況に関するパネルディスカッションに加藤拉致問題担当大臣（当時）がパネリストとして出席。
- ・ 平成29年5月には、加藤大臣（当時）がベルギー・ブリュッセルの欧州議会を拉致問題担当大臣として初めて訪問し、欧州議会議員と拉致問題に関する政策対話を実施。
- ・ 平成30年5月には、加藤大臣（当時）が米国を訪問。NYの国連本部において、日本、米国、韓国、EU、豪州の共催により、拉致問題を含む北朝鮮の人権問題に関するシンポジウムを開催。



NY国連本部でのシンポジウム（平成30年5月）

3. 情報発信（北朝鮮向けラジオ放送）

（1）内閣官房運営「ふるさとの風」「日本の風」

- ・ 北朝鮮に囚われている拉致被害者に御家族の声や励ましのメッセージを伝えるとともに、北朝鮮の人々の我が国に対する理解を増進する情報の発信等を行うため、平成19年7月から「ふるさとの風（日本語）」及び「日本の風（韓国語）」を毎日放送。
- ・ ニュースジャンルや使用音楽の多様化等、放送コンテンツの充実化に取り組中。
- ・ 特定失踪者問題調査会の「しおかぜ」と平成27年12月以降、共同でラジオ番組の公開収録イベントを開催。
- ・ 共同で番組制作等を行うなど、海外の北朝鮮向けラジオ放送局とも連携（平成29年4月及び平成30年4月にRFA、平成30年7月にVOA）。

（2）特定失踪者問題調査会「しおかぜ」における政府メッセージ送信

- ・ 日本政府の立場やメッセージを伝える機会を増やす観点から、特定失踪者問題調査会の「しおかぜ」による政府メッセージ送信を平成22年度から業務委託。平成29年度からは短波に加え中波でも実施。



放送時間帯・周波数	
日本語番組（ふるさとの風）	
- 22時30分～22時57分	周波数：7 29 5kHz(300kw)、9 70 5kHz(300kw)、9 9 50 kHz(100kw)
- 23時30分～24時00分	周波数：7 29 5kHz(300kw)、9 9 6 0kHz(100kw)
- 25時00分～25時30分	周波数：6 0 4 5kHz(300kw)、9 9 9 0kHz(300kw)、9 9 7 5kHz(100kw)
- 26時00分～26時30分	周波数：6 1 5 5kHz(300kw)
韓国語番組（日本の風）	
- 22時00分～22時30分	周波数：7 29 5kHz(300kw)、9 4 6 5kHz(300kw)、9 9 5 0kHz(100kw)
- 24時00分～24時30分	周波数：7 29 0kHz(300kw)、9 9 0 0kHz(300kw)、9 9 7 5kHz(100kw)
- 24時30分～25時00分	周波数：7 29 0kHz(300kw)、9 4 6 5kHz(300kw)、9 9 5 0kHz(100kw)
- 25時30分～26時00分	周波数：6 1 5 5kHz(300kw)

※上記放送時間には日本時間（JST）、周波数は2016年2月現在のものです。
※平成29年4月より22時25分30分の放送時間枠の周波数が3波に増え、25時30分25分30分の放送時間枠が新たに増えました。

特定失踪者問題調査会ホームページ「ふるさとの風」「日本の風」は拉致問題対策本部のホームページでもお聞きいただけます。
詳しくは以下のHPアドレスをご覧ください。

<http://www.warashi.go.jp/>

情報提供：拉致被害者に関する情報があれば、以下のアドレスまでお寄せください。

info@warashi.go.jp